

話題あれこれ

9月9日の9月議会一般質問で、公明党の田上祥子議員は、登壇の冒頭、通告外であるにも関わらず、安保関連法案について次のような意見述べました。

厚木市議会のホームページでは、その様子がアップされています。

戦争ほど残酷なものはない。戦争ほど悲惨なものはない。

平和ほど尊いものはない。平和ほど幸福なものはない。

平和こそ人類の進むべき根本の第一歩でなければならない。

このたびの平和安全保障法制の整備に当たり、常に私たちが確認してきたことでもあります。これが、公明党が平和の党であるといわれる所以であります。

平和安全保障法制は、日本を取り巻く安全保障環境が大きく変化し、厳しさを増している中で、切れ目のない防衛体制を構築することで紛争を未然に防ぐための法案で

国の行方を変えるかもしれない戦争法案の論議が大詰めを迎えた9月12日、厚木市議会の議員と元議員が、声明を出しました。

その後、9月19日未明、参議院本会議で自民・公明党などの賛成多数により、強行成立しました。立憲主義・民主主義の破壊だとの声が広がっています。

今後は私たちも戦争法の廃止を求めて、皆さんと連携してまいります。

「安全保障関連法案」の廃案を求める 厚木市議会議員・元議員の声明

現在、国会では「平和安全法制整備法」・「国際平和支援法」案が審議されています。参考人である憲法学者全員が法案を「憲法違反である」と断じています。また、安倍首相自身が「国民にはよく理解されていない」と発言しているにもかかわらず、衆議院で強行採決したことは、国民世論にも民主主義にも反するものです。

その後、参議院では、法案の必要性が崩れていること、無限定性、さらに防衛省の内部文書が明らかになるなどで、頻繁に審議が中断するという事態になっています。与党内からさえ廃案にすべきとの意見も出されています。

全国の地方議会からの廃案・慎重審議を求める意見書は265議会（7月11日現在）にも上っています。

また、憲法学者、研究者、法曹界、文化人のみならず、子どもを持つ親や若者、高校生までもが廃案を求めて行動しています。

厚木市においても、8月は多くの平和に関する催しがありました。市の行った「ピースメッセージ展示会」には、市民から300通を超える応募がありました。一枚一枚に、戦争はしてはいけない、平和でありたいという熱い思いが溢れていました。

平和は、国民の福祉を守る大前提です。

市民の暮らしを守るべき、議員・元議員の私たちは、憲法の立憲主義、平和主義に反する、安全保障関連法案の廃案を求めて、ここに声明します。

2015年9月12日

【賛同者】

現議員	釘丸 久子	栗山香代子	高田 浩	名切 文梨
	奈良 握	望月 真実		
元議員	石井 恒雄	大桃 正子	柴田 盛規	関原 康夫
	長沢 とよ	成田 大信	又木 京子	松前 進
	村井 正光	森屋 駿義	脇島 稔	



9月議会今後の予定

9月28日(月) 環境教育委(決算審査)
 29日(火) 都市経済委(決算審査)
 30日(水) 議会運営委
 10月 5日(月) 議会運営委・本会議
 時間は、午前9時から
 ぜひ、傍聴においでください。